

電気電子業界

2014年回顧と2015年展望

2015年2月24日

電気電子部会

Panasonic do Brasil 村上 廣高

(代理発表者 Sony Brasil Ltda 千野 浩毅)

2014年の回顧

	改善	維持	悪化	合計
2014年	10	0	6	16
(%)	63%	0%	37%	100%
2013年(%)	(69%)	(13%)	(19%)	100%

<家電>

- **AV機器** : 台数は大きく前年割れ、過剰流通在庫による値崩れ
- **白物家電** : エアコン・電子レンジ好調

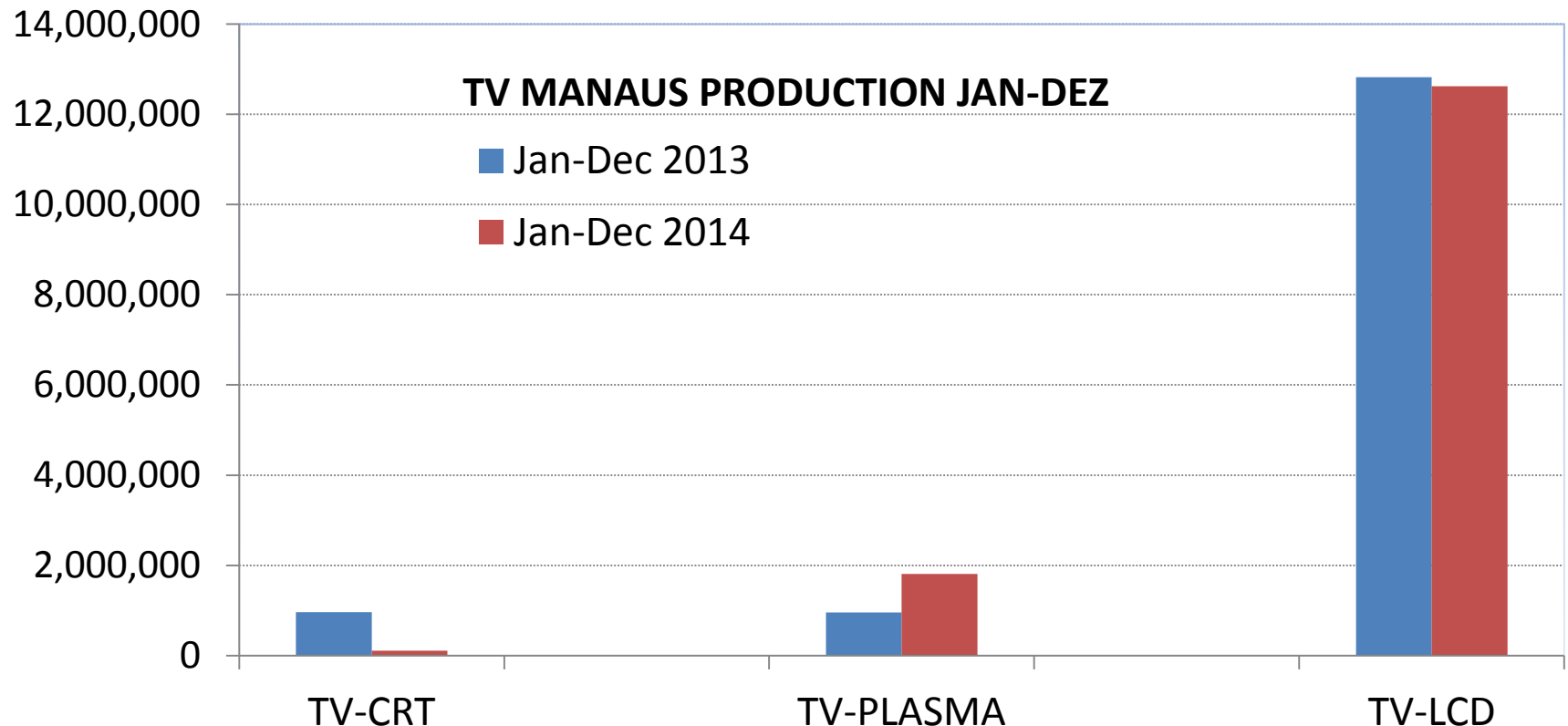
<情報・通信>

- **携帯電話** : 総台数は横ばい、スマホ倍増により単価UP
- **PC/Tablet** : PCからTabletへ需要シフト、全体はDown

<電子部品>

- 他産業不振の影響で2%ダウン

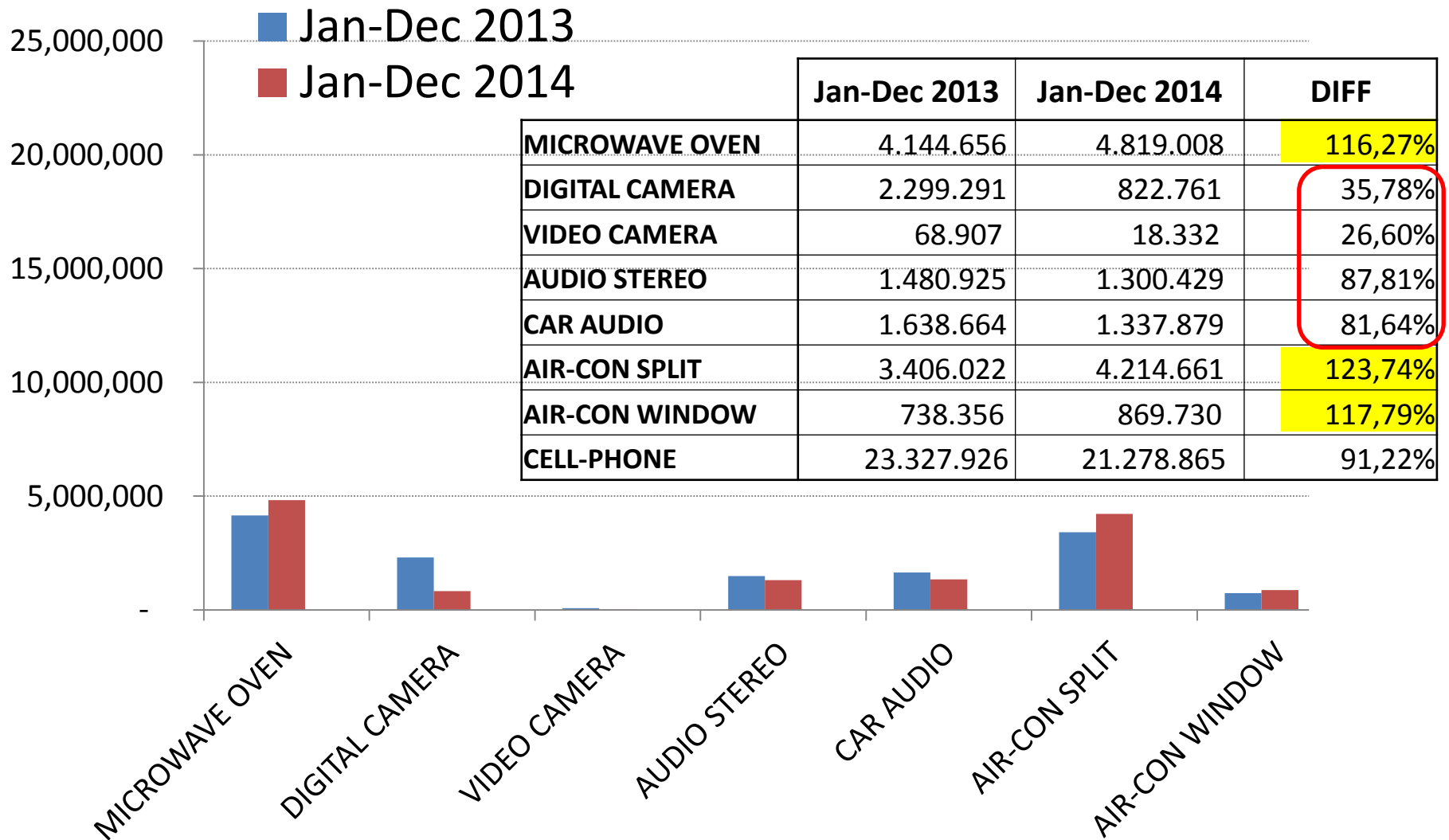
<TV> 2014 Jan-Dec Production in Manaus



TV	Jan-Dec 2013	Jan-Dec 2014	DIFF
TV-CRT	964.125	105.293	10,92%
TV-PLASMA	957.496	1.811.191	189,16%
TV-LCD	12.824.058	12.620.221	98,41%

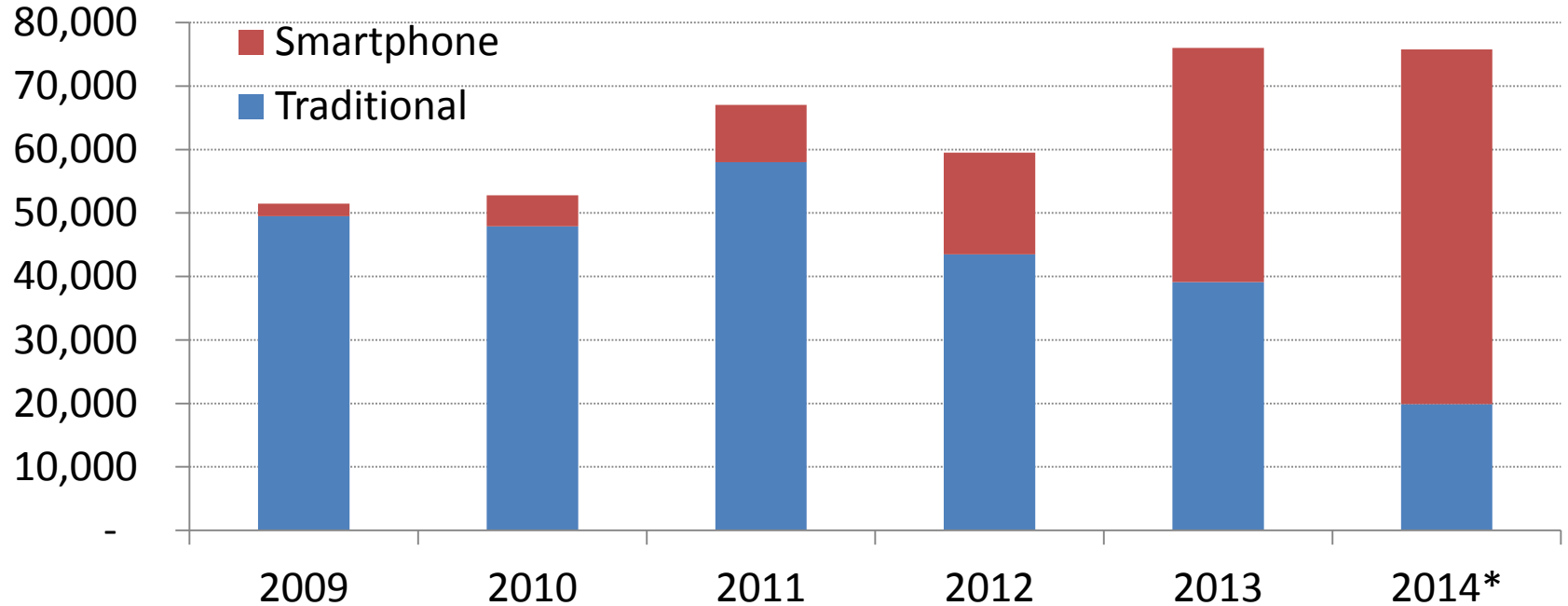
韓国勢がプラズマTVをW杯商戦で大量生産・安値販売
(結果)市場価格の乱れと過剰流通在庫

<Other AV> 2014 Jan-Dec Production in Manaus



白物家電は堅調、デジタル家電は不振（前年割れ）

携帯電話市場（販売台数）



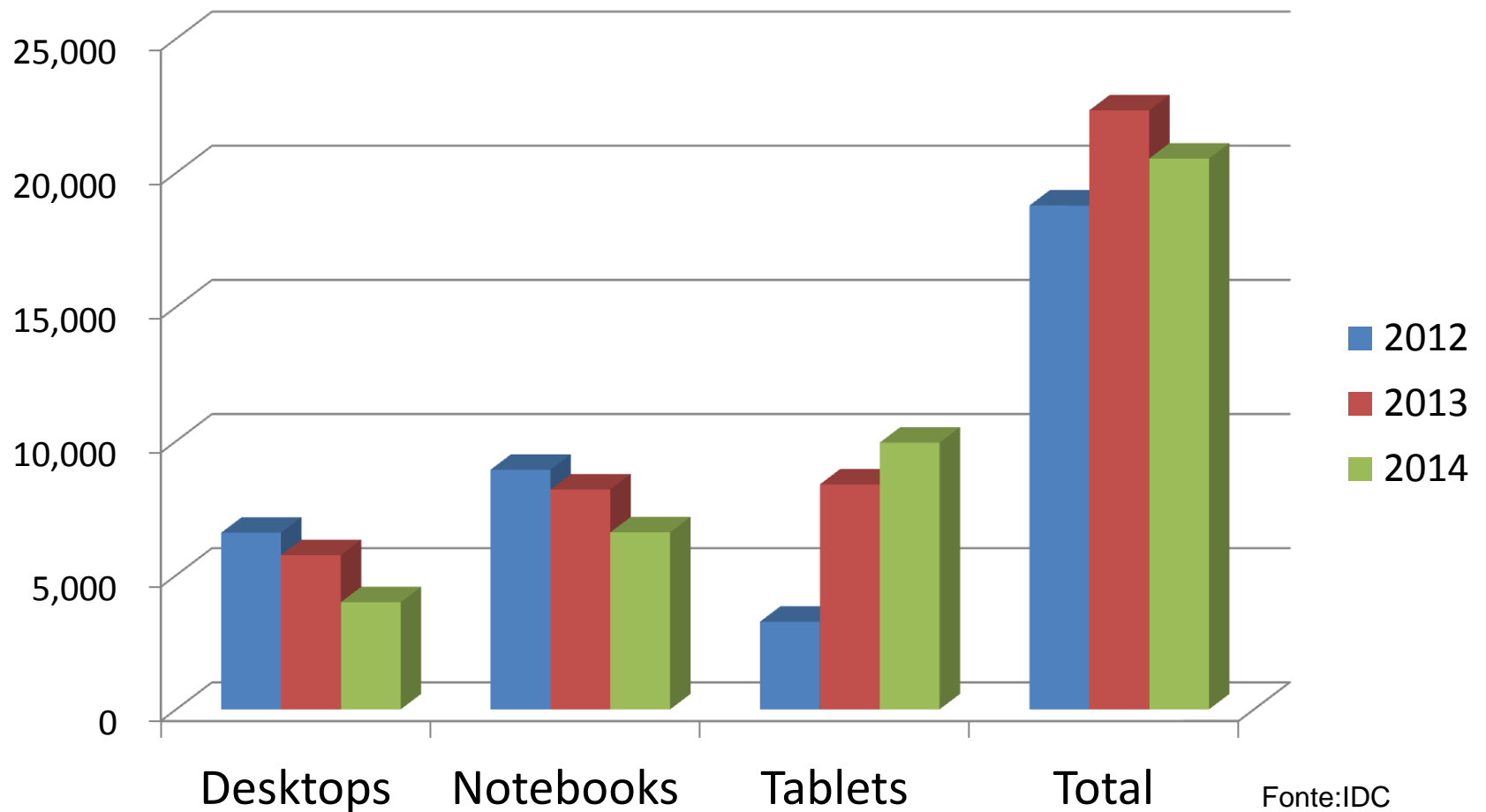
	Tradicionais	Smartphones	Total de Celulares
2009	49.500	1.955	47.455
2010	47.899	4.872	52.771
2011	58.011	8.999	67.009
2012	43.493	16.010	59.503
2013	39.103	36.918	76.021
2014*	19.874	55.878	75.753

* Projeção

Fonte: IDC

台数は横ばい、金額は27%アップ

PC/Tablet 市場（販売台数）



タブレット急伸、ノートブックを追い越す（全体はダウン）

2015年の展望

	改善	維持	悪化	合計
2015年	10	3	1	14
(%)	72%	21%	7%	100%
2014年(%)	(63%)	(0%)	(37%)	100%

<ネガティブ要素>

- 景気の改善は期待できない
- レアル安、高金利、インフレ、PETROBRAS問題
- 直近では水不足、電力不足
- 中長期では悲観的ではないが、短期的に事業環境は厳しい

<ポジティブ要素>

- リオ五輪に向けた特需(期待)
- 新規市場・顧客開拓

2015年 各社の経営課題とその対応

景気の好転が期待出来ない中で『守り』を固める

- 財務体質強化
(経費削減、コストダウン、設備投資抑制、資金確保)
- 事業インフラの充実(販売基盤確立、人材育成)
- ひたすら耐える一年！

成長へのキーワード

- 『日本ブランド』を活かしたビジネスモデルの創出
(新たな価値の創造と育成)
- 企業買収
- 輸出拡大

ブラジル政府への要望

- 複雑すぎる税制の改革
(移転価格、ICMSクレジット残、代行納税)
- インフラ改善と投資の促進
- 税金を払わない輸入に対する厳格な取締り
- 安全規格承認プロセスの迅速化
- 治安の改善

以上